

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		行政評価推進事業(市民等による事業評価事業)		担当部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 第25条 鳴門市附属機関設置条例 鳴門市行政評価外部評価委員会運営要綱	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業期間	開始	平成 18 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	未定
(小項目)		情報の共有化				
施策	4	情報の共有化の推進				
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市職員 事務事業						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	職員に対して行政評価制度をより一層浸透させ、評価した結果を事務事業の改善に反映させることにより、効率的かつ効果的な行政運営が実現され、評価結果(公表)により、市民の方と事務事業について情報共有が出来た状態。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	内部評価については、改善案がしやすい仕組みを検討して実施する。						
成果目標	事業目標の達成度割合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		改善案等が示されている事務事業の割合	50	50	50	50	50	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成27年度は、総合計画実施計画全事業を対象に行政評価を行った。また子育て世代による事業評価事業も開催し、行政評価を基に市民からの意見聴取を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	評価対象事務事業数	130	147	147	147	件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	改善案等が示されている事務事業の割合		57	71	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			142.0	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	200	200
		全体予算額	0	0	0	0	207	207
		決算額	0	0	0	0	152	152
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費
0.3	0.0		2,058		2,210			

【事務事業名：行政評価推進事業(市民等による事業評価事業)】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	197	152	194	194	194
	うち一般財源	197	152	194	194	194
	人件費	2,063	2,058	2,058	2,058	2,058
	総事業費	2,260	2,210	2,252	2,252	2,252

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		総合計画実施計画に掲載されている事業すべてを対象として事業評価を行った。また子育て世代からも事業評価を行えた。
	効率性	B:概ね効率的だった		内部評価は例年どおり実施できた。子育て世代の事業評価については、開催が遅れた。
②成果に対する評価	指標名	改善案等が示されている事務事業の割合		目標を達成できたため、A評価としたい。
	目標	50	%	
	実績	71	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		例年通り実施でき、目標も達成できたため、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民による行政評価を、大学生、子育て世代と年々対象を変えており、本年度はまた外国人などの新しい対象で考えたい。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	行政評価を例年どおり実施するとともに、市民による事業評価も対象を変えて実施したい。			
	平成29年度	平成28年度の取組を鑑みて検討する。			